

エッジ×クラウドで「社会の大丈夫をつかっていく。」

インフラ構造物の劣化を予測・予防保全できる インフラモニタリングサービス

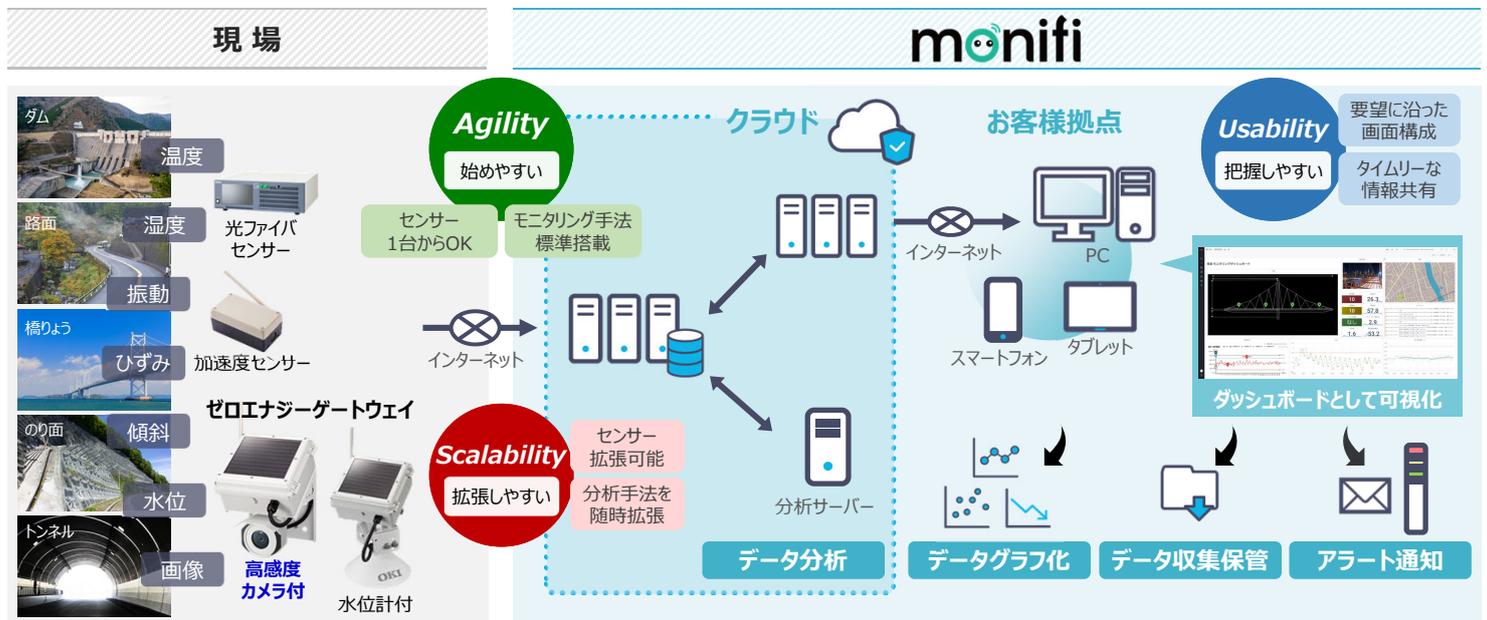
monifi

モニフィ

monifi : MONItoring service For Infrastructure

「monifi™」は、多種多様なセンサーで取得したインフラ構造物の振動や河川の水位など、現場の情報を収集・分析することにより、インフラの劣化進行や災害状況を予測し、最適な予防保全を可能にします。

新商品「ゼロエナジー高感度カメラ」と連携させることで、広範囲でのインフラの巡回点検の自動化、遠隔地からの災害現場の目視確認など、総合的な**防災DX**が実現できます。



「monifi」の主な特長

Agility (俊敏性)

人の判断を支援する”計測値のモニタリング手法”を標準で搭載。張力・歪みなどの測定・監視を、センサー1台からすぐに始められます。

Scalability (拡張性)

センサーを多数接続可能で、MQTT対応(*)の他社製センサーとの接続性確保やモニタリング手法の追加により、大規模な防災DXに貢献します。

Usability (有用性)

グラフやGIS表示などの画面カスタマイズや、設定値を超過した場合のメール通知により状況の把握が容易です。

*MQTT:センサーネットワークなどIoT分野での使用に適する通信プロトコル。

ダッシュボード ～現場データを見る化して迅速な判断を支援～



直感的に分かりやすい画面をニーズに合わせて合成し、センサーデータからインフラ構造物の状態診断を行い、異常時はメールで通知します。

- ✓ 知りたい情報を1画面に表示
- ✓ 各パネルのサイズ調整が可能
- ✓ 指定期間のデータ抽出&グラフ表示
- ✓ 確認したいデータをクリックして詳細確認
- ✓ しきい値の超過時にメール通知

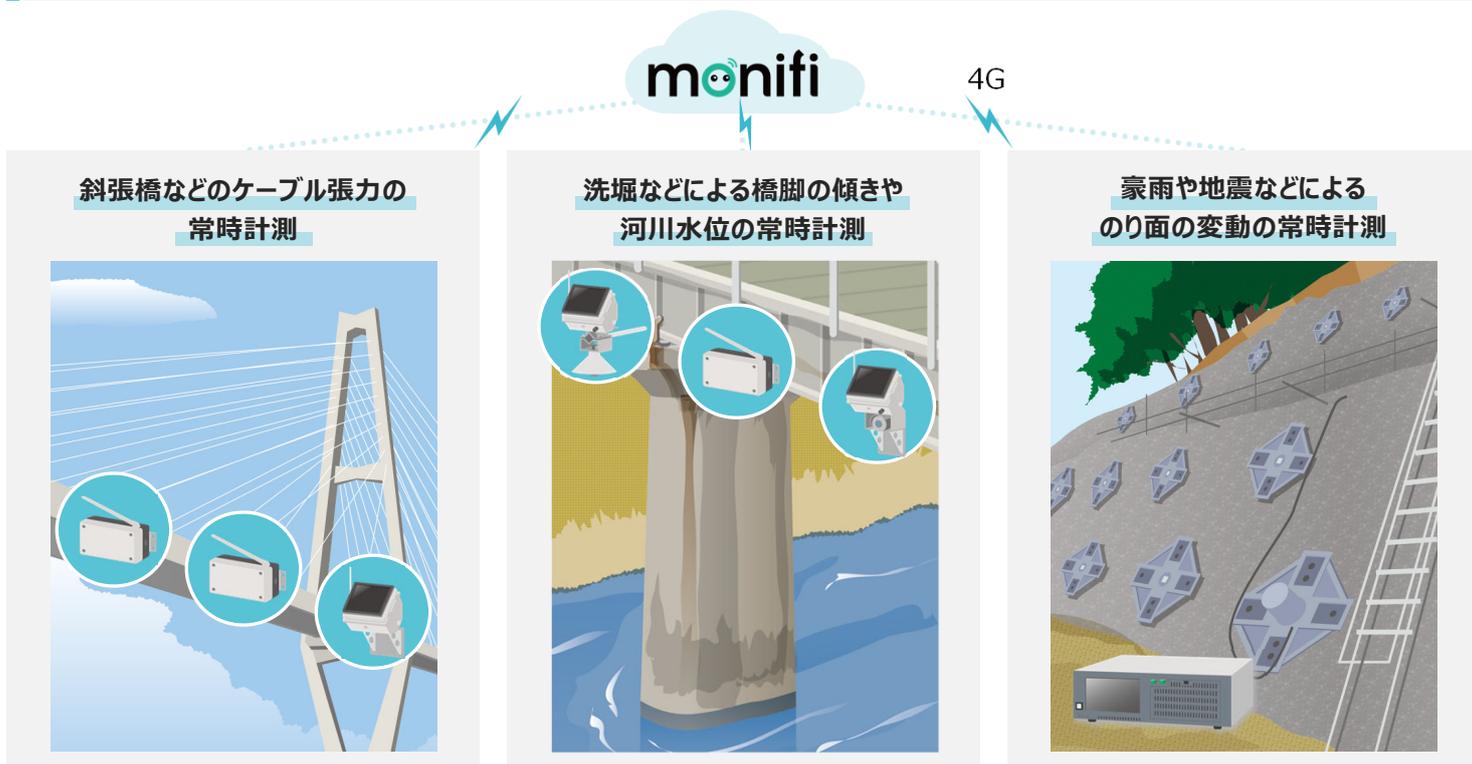


利用シーン（監視例）



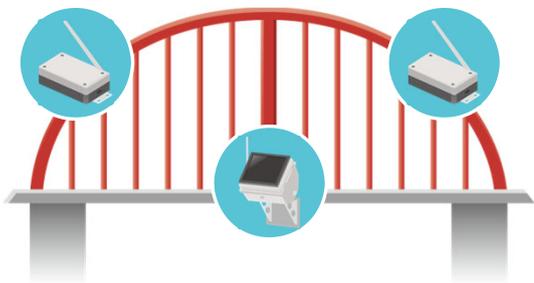
- 橋りょうの劣化（固有振動数）
- 斜張橋の斜材ケーブルの張力診断
- 橋脚の傾斜や河川の水位測定による洗堀状況
- 光ファイバーセンシングによる道路の路面温度や盛土・のり面
- 鉄塔・支柱・構造体の傾斜や振動
- ダムの構造変化

ユースケース例



常時計測による状態把握により、適時適切な予防保全活動に活かし、安全性の確保や作業生産性の向上に貢献します。

構成・価格例



ゼロエネルギーゲートウェイ1台＋
無線加速度センサーユニット2台構成を
1年未満契約の場合

初期費：100,000円
月額費：30,000円

- 機器本体購入費用・設置費用・通信費用は含まれません。
- 契約期間・契約台数に応じた料金体系を設定しています。
- 詳細はOKIのホームページをご覧ください。

monifiご紹介／お問い合わせ ▶



ご注意ください

- 本サービスに接続するセンサー機器・通信機器・通信回線は、別途お客様にてご用意ください。また、センサー機器をインフラ構造物に取り付ける作業もお客様にて実施していただく必要があります。当社にて本サービスに対応したセンサー機器の販売や、機器の設置につきましてもご相談に応じることが可能ですので、お気軽にお問い合わせください。
- センサー機器で取得された計測値を元に本サービスが提供する分析は、内容についてその正確性、完全性、有用性、最新性、適切性、確実性、動作性など、その内容につきまして何ら法的保証をするものではありません。
- カatalogの内容および商品の外観、仕様は予告なく変更する可能性があります。
- 本カタログに掲載の商品には、ご購入の際、消費税が付加されますのでご承知をお願いします。
- monifiは、沖電気工業株式会社の商標です。
- その他、記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。